

授業科目名	色彩学		年次	1年			
			学科(コース)	CGデザイン科			
担当教員名	三橋 幸四郎		開講年度・学期	2023年度・通年			
授業の方法	講義	週時限数	1	年間授業時数	38時間	科目区分	必須
	関連実務経験等						
授業の概要 (実務経験を 活かした教育 内容)	イベント・コンサート・舞台等における映像・3DCG・イラスト等の制作に携わる。						
授業の 到達目標	<p>「色彩学(カラー)」の授業では、色彩に関する基礎知識を習得し、各種カラーオーダーシステムを用いた配色や色彩調和を行う技術を身に付ける。また、デザイナーとして必要な基礎用語の他、色覚バリアフリー等の色覚についての多様性も学びます。なお、東京商工会議所カラーコーディネーター検定試験スタンダードを受験します。</p> <p>1. 色彩学の基礎用語が理解できる。 2. カラーオーダーシステム等を用いた客観的な配色技術が習得できる。 3. デザイン実務での色彩の応用的な取り扱いが理解できる。</p>						
授業計画	月	内容					
	4	・生活と色の効用					
	5	・色を自由に操る方法					
	6	・きれいな配色をつくる					
	7	・色を美しく見せる光のマジック					
	8	ー					
	9	・背景色を上手に使って色の見えを変える ・前期末試験実施					
	10	・色で売り上げをアップする方法 ・東京商工会議所カラーコーディネーター検定試験対策					
	11	・色を再現する方法(混色の原理と種類・色再現) ・カラーコーディネーター検定(スタンダード)受験					
	12	・色と文化の歴史(日本の色彩文化・絵画の色彩・商品に見る色彩)					
	1	・配色実務1 (CCIC・マンセル表色系)					
	2	・配色実務2 (色相差、明度差、彩度差、トーン差による配色)					
	3	・後期末試験実施					
	成績評価の 方法	前期(9月)と後期(3月)の定期試験で評価を行う。定期的な配色に関する小テスト及び出席等が平常点となる。成績評価:優(100~90)・良(89~70)・可(69~40)・不可(39~0)					
準備学習・ 事後学習等	配布プリントを記入し、デザインを行う上で配色についての疑問点などをまとめ、質問をしてください。						
テキスト	カラーコーディネーター検定試験 公式テキスト						
参考書・ 参考資料等	参考資料をプリントで配布等						
その他 (学生に対する 要望、メッセ ージ)	デザイナーを目指すうえで、特に配色は大きなウェイトを占めます。自分の好みで配色するのではなく、客観的な視点で色彩に意味をもたせ、また、クライアントの心理を色彩でコントロールする術も身に付けます。そのため、非常に多くの知識や用語が多くなりますが、将来必ず役立つ知識です。併せて東京商工会議所カラーコーディネーター検定スタンダードにもチャレンジします。						